



## 社会とのかかわり

コーセーグループは、化粧品を中心とした美の創造企業として、いつまでも美しくありたい、健やかでありたいというお客さまの願いに応えるとともに、お取引先さまや社員、地域社会や国際社会との共生を図って新しい時代を拓いていくことを目指しています。

### お客さまとともに

#### コーセーグループ全体で お客さま視点での高い品質を目指す

コーセーは1946年の創業時から、「品質のコーセー」という自負を持って化粧品を提供してきました。この精神は今も脈々と受け継がれ、1980年には、総合的品質管理に関する世界最高ランクの賞といわれる「デミング賞 事業所表彰」を化粧品業界で初めて、コーセーの生産部門が受賞しました。

近年では、「商品そのものの品質だけではなく、商品開発、PR、販売、お客さま窓口といった、すべての日常業務もまた“高い品質”ではなくてはならない」と、コーセーの全従業員がお客さま視点での活動を高めることを目標に、2010年度より「コーセー品質方針」を掲げています。

この「コーセー品質方針」は、「お客さまの満足が私たちの願いです」というメッセージを中心に、従業員がそれぞれの職場でイメージできる5つの活動宣言で構成し、ものづくりの視点ではなく、お客さま視点をもっとも重視しています。これは、従業員一人ひとりの品質改

善活動が会社全体としてさらなる品質の向上へと直結するという考えを基盤としています。

もっとお客さまに喜んでいただけるコーセーを目指し、広く深い意味での“品質”を磨き続けます。

#### 品質方針

「お客さまの満足が私たちの願いです」

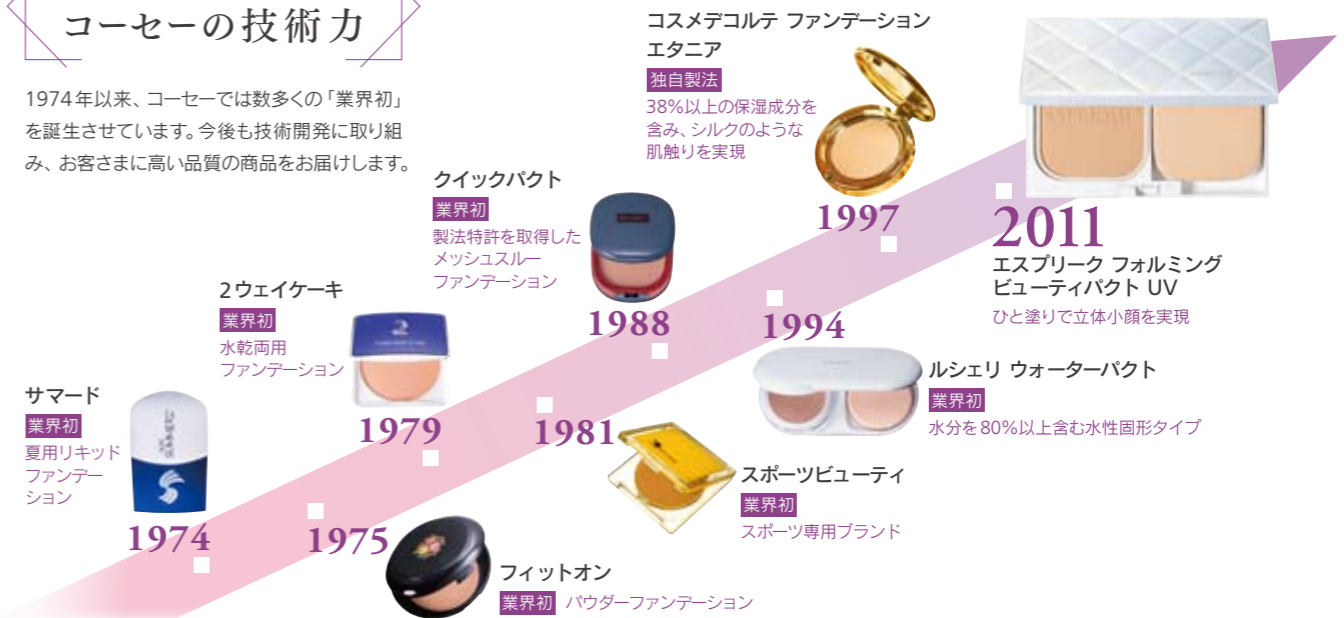
- 良い商品で安心と安全を提供します。
- 魅力的な商品や最良の品質を追求します。
- 正しい情報をお届けし、お客さまとの信頼をつくります。
- お客さまの声を聞き、より良い商品づくりに活用します。
- ものづくりやサービスの基本である法規制を遵守します。

#### 安心してお使いいただくために

肌に直接つけて使用される化粧品は、その使われ方も、環境もお客さまによってさまざまです。どのような場合でも、お客さまに安心してご使用いただけるよう、コーセーでは独自の高い安全基準を設け、原料段階から安全性を確保するため、各原料についてさまざまな試験を実施し、安全が確認されたもののみを化粧品原料として採用しています。同様に、最終商品においても厳格な試験を実施し、安全性を確認しています。

### ファンデーションの歴史で見る コーセーの技術力

1974年以来、コーセーでは数多くの「業界初」を誕生させています。今後も技術開発に取り組み、お客さまに高い品質の商品をお届けします。



#### 技術開発力と品質保証体制を強化

コーセーには、世界で初めて美容液やパウダーファンデーションを開発した歴史があり、新しい顧客や市場を創造するようなオリジナリティのある研究開発力が当社の強みであると考えています。



コーセー研究所

お客さまのニーズや科学技術の進歩、市場要因、社会環境などにより、化粧品に求められる品質も時代とともに変わります。そうした変化を先取りしながら、求められる品質をいち早く実現するために、当社はISO国際標準化機構化粧品専門委員会や、安全性評価のための新しい試験法開発に関する厚生労働科学研究<sup>※</sup>への参画など、幅広い活動を積極的に行っています。

<sup>※</sup>産官学の各分野が協力して新しい知見を生み出すことを目的に行われる厚生労働省所管の研究

#### コーセーの研究開発体制

- コーセー研究所  
製品化研究、先行開発製品の研究開発
- コーセー基礎研究所  
皮膚・薬剤・新素材の基礎研究、製品・原料の品質保証研究
- コーセー研究所 技術情報センター  
知財・薬事・学術の情報管理、海外市場法規制調査

#### COLUMN

#### コーセーの生産を支えるQC活動

品質向上を目指すとともに、作業の改善を実施し、継続的に生産性向上へと結びつける活動を行うQCサークル(Quality Control=品質管理)。コーセーでも約30年前から導入し、生産部において約90のサークルが活動しています。この活動は、コーセーの品質を支える基盤となるもので、全社的な品質管理活動の一環として位置づけられています。メンバーは正社員だけではなく、パートタイマーやアルバイト<sup>※1</sup>も含めた生産に携わる従業員が主体的に改善活動を行い、個々の能力が大きく発揮される場でもあり、やりがいのある職場環境づくりに役立っています。2010年11月に行われた第40回記念全日本選抜QCサークル大会<sup>※2</sup>では、群馬工場製造課「アクティブサークル」が、職場全体のレベルアップ、組織の活性化につなげた活動を改善事例として発表し金賞を受賞しました。

<sup>※1</sup> 成果を挙げることができた非正規社員には、正社員への登用制度を用意  
<sup>※2</sup> 全国には7~8万のサークルが活動。2010年は全国9支部から推薦された代表18サークルが発表



男性8名、女性1名の9名で構成され、金賞を受賞した「アクティブサークル」のメンバー